

令和元年度 第2回 大阪府立島本高等学校 学校運営協議会 議事録

委員構成（敬称略）

柘植 誠子（短期大学准教授）、花田 純子（地元民生委員児童委員協議会委員）
畑 克延（地元中学校教頭）、堀 聖二（地元中学校首席）、永田 博和（本校同窓会会計）
武田 由美子（本校PTA会長）、伊藤 義孝（本校校長）、山下 一郎（本校教頭）
尚山 信夫（本校教頭）、岩下 幸司（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）、
札木 理（本校首席）

○日時

第2回 令和元年11月18日（月）14時～17時

場所 校長室及び島本町ふれあいセンター

- 14:00～ 校舎内芸術祭品鑑賞（芸術祭展示視察）
- 14:40～ しまもと町ふれあいセンターへ移動
- 15:00～ 芸術祭・音楽祭鑑賞
- 16:00～ 島本町ふれあいセンターより学校へ移動
- 16:15～ 協議

○出席者（敬称略）

畑 克延、堀 聖二、永田 博和、武田 由美子、花田 純子、伊藤 義孝、山下 一郎、岩下 幸司、
佐々木 哉司、札木 理、（記録）近藤 清文 （記録）堅田 恵子

1. 副会長挨拶
2. 校長挨拶

校内芸術作品鑑賞に関する意見交換

- ・学年が上がるにつれて精度が上がっている。駅前の作品に「アッ」と思う作品がある。
- ・作品を見て力量を感じた。
- ・生徒の興味関心に差がある。たくさんの作品に目を通すのは大変だと思う。
- ・美術作品には差がある。書道の作品に毎年工夫があり感心している。

【補足説明】

- ・他にもカレンダーやバックの制作など、日常生活にそった取組みをしている。生徒も楽しみながらやっているし、やらねばならないという雰囲気がある。
- ・見てもらうのはいい機会になり、今年はふれあいセンターの改修のため、校内展示にしている。

芸術祭（音楽祭）に関する質問及び意見交換

- ・昨年よりも、上達していた。また、失敗しても動じない点など、鑑賞していてうれしかった。
- ・昨年は参加できなかったが、確かミュージカルがあった。なくなって残念だった。ミュージカル

は雰囲気作りや達成感ができる。

※以前は保育課題研究の授業が週 3 時間でミュージカル的な作品の作成もできたが、現在では週 2 時間になったため、余裕がなくできていない。

- ・学年が上がるにつれて作品の完成度が上がっている。また保育専門コースでは、高校からピアノを始めてできるのか、と不安に思っていたが、実際に見ると全く習っていなくても弾けるようになっていいるのですごい。
- ・保育専門コースを選択して、最初はできるか、と思っていたが、今日初めて弾いている姿を見て日々の練習もしているんだなと感じた。社会に出ても活躍してくれることを期待している。
- ・高校時代に、拍手をもらって嬉しかった記憶がある。本日、生徒の皆さんも拍手をもらって嬉しかったのではないだろうか。

議案

(1) 令和元年度進路の状況について

- ・4年制大学は現在公募推薦入試中で、今週末も受験者がいる。
- ・短大は、ほぼ保育専門コースの生徒が該当している。
- ・専門学校希望の生徒は、未決定者がいるが今後決定していく。
- ・就職はほぼ順調に推移している。今後、二次、三次と続いていくが年度末には全員決定したい。

【質問】例年と比べて違う点はあったか。

→短大の数が少なくなっているため、人数が少なくなっている。4年制に移行している。

就職等については、例年に比べ一次で合格した数は多いが、概ね例年通りで推移している。

(2) 令和元年度1・2年生進路希望調査について

- ・進路マップの情報を活用して経年比較を行っている。
- ・ほぼ、数値的には大きな差異はない。若干、専門学校が減っている。
- ・2年生については10月に3年生の科目選択の最終登録になるが、例年に比べて若干早めに進路を決定しているような状況がある。

【質問】4年制大学を希望している生徒への指導体制はどうなっているのか。

→SSL(島本スタディラボ)を部活動として位置づけたことで、指導はしやすくなった。各学年で少数であるが、毎日学習している。土曜日にも部活動として活動している。学習の底上げについては、今年度からチューター制を導入し、1学期に一度指導を行っている。1学期にチューター制で指導にかかった生徒も、2学期には生徒の入れ替わりがある。今後も注視したい。

【質問】44期生では1年で国公立大学を希望している生徒がいたが、今はどうなっているか。

→今年度は、センター試験受験者がおらず、国公立大学希望者もない。

(3) 令和元年度生徒指導状況について

- ・在籍生の数が減少しているため、一概に減少しているとは言い難いが、登校遅刻については約2000件減っている。半面授業遅刻については1、2年において増加している。
- ・今年度入学生が大幅に減少した影響があるかも知れない。
- ・頭髪に関しては段階的な指導を行い、次年度に向けパーマ指導も行っていく。また服飾・装飾品な

どについては落ち着いている

【質問】校門での挨拶運動とは何か。

→先週一週間、生徒会執行部で発案し実施した。生徒が主体的に動き、先生方も一緒になって行動してきた。

【質問】生徒会で実施してみて、生徒の感想はどうだったのか。

→生徒の感想は聴いていないが、生徒会長を中心に学校を良くしようと頑張ってくれている。

11月16日にオープンスクールを実施したが、その後も率先して生徒会の生徒は地域の清掃を行っていた。自分達ですべきことを決めて動いている。また、オープンスクールでもアンケートの中に生徒

会長の挨拶が素晴らしかったと記載して頂いていた。

(4) 令和元年度学校経営計画進捗状況について

学校教育自己診断が未実施のため、評価指標を示すことができない項目があり、それ以外の部分を記載している。

【質問】前期の状況はどうだったのか。

→授業改善については公開授業週間やパッケージ研修支援の活動など計画的に実施できている。

また、12月に実施予定の保育系交流会には、みどり清朋高校から17名の参加を予定しており、少しづつ実績が伴ってきた。大学側も1校増加し、いい方向に動いている。半面、部活動に関しては思ったように加入率が伸びず、逆に20%未満となり危機感がある。人権教育関係については3年間で人権課題について学ばせようという方向が結実し、方向性が確立した。なお、学校教育自己診断は今月下旬に実施のため、評価は、その結果をみてからになることから、次回の学校運営協議会で提示になる。

(5) 令和元年度学校教育自己診断について

学校教育自己診断は11月28日に実施するが、質問事項は経年変化を見る必要があるため、昨年度と同じものになっている。

【質問】保護者からの回答率はどのくらいか。

→約70%と記憶している。

・中学校でも自己診断を実施しているが、回収率も90%と高く、学校が楽しいとする割合も8割と高い数値を維持している。

・毎年同じアンケートを実施しているが、結果に対する行動が見えない。

学校では対策を練って行っているのだろうと思うが、目に見える形になるのが好ましい。

→今後目に見える形にできるように課題としていく。

(6) 意見交換

・11月16日のオープンスクールでは例年と同じぐらいの来校者があった。オープンスクールは年間6回実施して、何とか入学志願者が増えるようにしている。

・本校のアピールという意味を含めて、大阪府でのネットニュース「きょういくニュース」に掲載してもらおう予定である。少しでもアピールしていきたい。

・堀江さんが卒業生としてワールドカップラグビーで活躍していたので、島本町をあげて応援したらよかったと思う。また高校でも大型テレビで応援する機会があったらよかった。

次回 令和2年1月22日(水) 14:00～